

日本原子力学会 熱流動部会
熱水力ロードマップ H28年度幹事会(第2回) 議事録

日付： 2016年7月13日(水) 10:00～12:30
場所： 電力中央研究所 大手町ビル第5会議室
参加者： 大貫 (MHI)、木藤 (日立GE)、西 (電中研)、中村 (JAEA)
岩城 (東芝) (記)
(欠席者)： 糸井 (東大) 野崎 (テプシス) (熱流動部会研究委員長 オブサーバ)

配付資料(案)

- 1) 資料1-1: 2016年度__熱水力ロードマップ第1回幹事会 議事録案
- 2) 資料2-1: RM 対応表①
- 3) 資料2-2: RM 関係表②
- 4) 資料2-3: 国プロ調査①
- 5) 資料2-4: 国プロ調査②
- 6) 資料2-5: エネ総工研の進捗と次の計画
- 7) 資料2-6: 英知を集結した原子力科学技術・人材育成推進事業

議事録 (案)

資料1-1を基に、第1回の議事を確認した。

また資料2-1～2-6を基に、熱水力RMと資エ庁RMの整合性と、今後のローリングの具体的な作業内容について議論した。

主な議論：

●資エ庁RMとの整合確認と個別課題アップデート

・熱水力RMの基盤技術12項目および安全評価4項目および外的事象に関しては、いずれも資エ庁RMに対応する項目があることを確認した。ただし、熱水力RMの基盤技術③「不純物の冷却への影響」は資エ庁RMで直接言及されていないものの、SA解析手法の高度化につながるため資エ庁RM「安全解析の高度化」に該当するというように、幅広く解釈しているものもある。

・木藤幹事より追加課題として、「ICなどの静的除熱技術」「空冷技術」が挙げられた。

・METI 発電用原子炉等安全対策高度化技術開発費補助金および基盤整備事業として実施してきた国プロの中には昨年度終了したものも多く、次フェーズを検討する必要がある。

・事故耐性燃料材料(SiC)など、課題が明確になってきたものについては、内容のアップデートが必要である。

・NRA委託、MEXT公募、METI公募のIRID枠についてはテーマに漏れがないか再確認する。

・個別課題のアップデートに資エ庁RMとの整合表を活用するには、資エ庁RM項目に対して熱水力RMがカバーできているかをまず明確にする必要がある。よって資エ庁RM項目を起点に、対応する熱水力RMの項目を整理し直すこととした。

・資エ庁RMのローリングと並行して本作業を進めることに対して2度手間にならないかとの意見があったが、熱水力RMに対応する資エ庁RMの項目はいずれも重要度高で評価されており、削除されることはない見通しであることを確認した。

●外的事象について

・電中研 江口氏に次回幹事会にご参加いただき、外的事象に関する個票について議論することとなった。

●WGメンバーについて

・旧メンバーと若手の新規メンバーにより構成することとし、候補者を決定した。今後、候補者にメールで打診する。

●WGの進め方について

・WGの予算がないため、全体会議は学会の年会に合わせて設定し、当面は個別作業とメールでの議論とする。第1回の全体会議を秋の年会に設定すべく準備する。

●次回までの宿題

- ①資エ庁 RM を起点した熱水力 RM の再整理（担当：木藤幹事が案作成⇒全員で追加）
- ②第 1 回全体会議向けの資料案作成（担当：中村幹事）
- ③委員候補への打診メール送付（担当：中村幹事文案作成⇒分担して送付）

※次回幹事会

日付： 2016年8月4日(水) 10:00～12:30

場所： 電力中央研究所 大手町ビル第5会議室

主な議題；

- ・資エ庁 RM と熱水力 RM の整合表の確認
- ・外的事象に関する個票アップデートについて
- ・年会での全体会議について

以上